

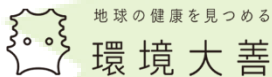
オホーツク支部2月例会のご案内

産学官連携で

オホーツク支部2月例会は、循環型社会を形成する3社の事例から「産学官連携」と「循環型社会」を考えます!

持続可能な循環型社会を

～オホーツク企業3社の取り組みから～



環境大善

AC 株式会社エース・クリーン

AT 赤坂木材株式会社



コーディネーター
有限会社 澤田農場

代表取締役 窪之内 誠氏

公害の元となる牛の尿(未利用バイオマス)を原料とした消臭剤「きえーる」や土壌改良材「土いきかえる」を製造・販売。自社の取り組みを『アップサイクル型循環システム』と呼び、日本のみならず世界での展開を目指す。2017年より北見工業大学と共同研究を開始。

代表取締役 中井 真太郎氏

公的研究機関や、帯広畜産大学を始めとする大学、行政、民間企業の協力を得て、木材から作った牛の粗飼料「キャトルエース」を製造・販売。間伐材の高付加価値化、飼料の自給率の向上にも貢献。2020年には専用の製造プラントを設置・開設する。

代表取締役 渋谷 光敏氏

森林資源に恵まれた北見市留辺蘂町で、木材産業を支え、素材生産業を営む。環境にやさしい森林整備により森林の持つ公益的機能の増進と、循環型社会形成を目指している。キャトルエースの木材は同社が提供。

代表取締役 澤田 篤史氏

清里町で畑作と肉牛を生産。肉牛からの堆肥を畑に、畑からの麦ワラを牛に活用する循環型複合経営を目指している。豆腐や味噌など加工品づくりも行い、生産から販売まで一貫して行う6次産業に注力している。

◆日時: 2月14日(月) 18:30~21:30

◆会場: 北見市民会館小ホール(北見市常盤町2丁目1-10)
パネルディスカッション:90分 グループ討論(Zoomの方もご参加ください):45分

◆参加費: 1,000円(会場費他として) ゲスト(未会員)は2,000円